

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－
	○	商店街（常務理事）	・港湾地区の開発が来春、佳境となり、既にしゅん工した施設を含めバリエーションが豊かであることから、人流や経済への波及効果の期待が高まっている。また、来年は、万博や国際芸術祭も開催されることから、観光客やインバウンドも更に増えるとみられており、商店街としては夜型観光、消費にも貢献していきたいと考えている。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・個人消費が少しずつだが回復している。以前は必要分だけを購入することが多かったが、ついで買いがみられるようになってきた。
	○	スーパー（店長）	・良い傾向が数か月続いている。
	○	スーパー（企画担当）	・年明け以降も商品単価の引上げが予定されており、売上の増加につながると推定される。来客数については、単価の低い店への買い回りが更に顕著になると推定されるため、業況は厳しくなるとみられる。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	・当地域と香港、韓国との定期便就航により、飲食や土産の売上に少しずつ良い影響が出始めている。
	○	通信会社（営業担当）	・物価高もあり、客単価は低くなる傾向にあるが、来客数は安定している。新生活シーズンへの期待もあり、景気回復を期待している。
	□	商店街（代表者）	・観光客やインバウンドは増加しているものの、それを受け入れる飲食店やホテルは人手不足の状況が続いている。そのため、売上がかなり増加する状況ではあるものの、うまく売上につなげることができない状況になっていくとみられる。
	□	商店街（代表者）	・物価の上昇や燃料価格の高騰が続いており、年明けには燃料の補助金も更に減少するため、厳しい状況になるとみられる。
	□	百貨店（販売促進）	・様々な商品の値上げラッシュが続いているが、徐々に消費者が慣れていくとみられる。
	□	百貨店（マネージャー）	・物価、エネルギー価格の上昇が続いているため、早急な景気回復は見込めない。
	□	スーパー（企画担当）	・物価上昇に伴い、メリハリのついた消費や節約志向などがみられるなど、先行き不透明感がある。
	□	スーパー（人事）	・4月の春闘での昇給により業況が少し上向き可能性があるが、3か月後ではまだその効果が出ないとみられる。
	□	コンビニ（商品担当）	・米国大統領就任により、各地の紛争に停戦の動きがあれば多少は物価が安定するとみられる。
	□	コンビニ（総務）	・今月の売上が前年比では比較的良好だが、それ以上の伸長が簡単には見込めないとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・物価が上がり税金の支払も大変であり、消費は良くならないとみられる。地方の中小企業は人件費も上がり、商売の規模を縮小するしかないため、今のままでは地方の景気は良くならないとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・ここ何か月かは現状が変わっておらず、近い将来も大きく変わらないとみられる。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・食品類の値上げが一層進むことから、景気が良くならず、悪い状況が続くとみられる。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・販売停止車両の販売再開が見込まれない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・車の長納期化が解消されない限り、良くはならない。
	□	観光型旅館（経営者）	・地域の集客量には限界があり、今後は周辺地域への回遊が進まなければ、更なる売上増加は難しい。一方、韓国の政情不安もあるが、春節の集客は今のところ順調に進むとみられる。
	□	都市型ホテル（経営者）	・光熱費の負担増加、物価上昇、人件費の上昇などの収益性を低下させる要因が多く、今後の見通しが良くない。
	□	通信会社（支店長）	・12月の販売状況が期待を下回るため、冬物商戦期明けの2月も期待できない。
	□	観光遊園地（主幹）	・特に状況が大きく変化するような予定がないため、現在の良い景気が維持されることが見込まれる。

	競艇場 (マネージャー)	・物価高がまだ続いており、生活余裕資金の減少も懸念されるが、物価高騰の継続により生活資金のやり繰りに少し慣れてきており、この状況がもう少し続くと予想される。	
▲	商店街 (代表者)	・地方都市の再生は、従来の商店街の概念から、一つのあらたな個、組織体として意識改革して情報通信ネットワークを拡大して競っていかねばならず、従来型の活性化や再開発による方策ではますます取り残されていくとみられる。	
▲	一般小売店〔酒〕 (経営者)	・賃金が上がらず、物価上昇だけが続いている状況であり、先行きに不安しかない。	
▲	スーパー (店長)	・今後も続く物価高の影響が懸念される。	
▲	スーパー (統括担当)	・買上点数の減少といった買い控えの傾向が以前より大きくなっている。来客数の減少、単価上昇、購入点数の減少傾向がより明確になっている。	
▲	スーパー (財務担当)	・更なる値上げで、節約志向がより強まり、販売促進を実施しない日は業況が厳しくなるとみられる。	
▲	コンビニ (店長)	・来店を続けている人も買上点数は減少しており、来店をやめる人の微増も継続しているとみられる。	
▲	コンビニ (店長)	・1月も、商品価格が上昇予定であり、更に消費意欲の低下は免れないとみられる。また、今年は年末年始の休暇が長く、その後の落ち込みが大きいと心配している。	
▲	衣料品専門店 (経営者)	・物価高が予想を超えており、買い控えがみられる。	
▲	家電量販店 (店員)	・売上増加は一過性のものであり、今後はまた値上げの影響で鈍るとみられる。	
▲	家電量販店 (副店長)	・来客数が伸びてこない状況が続いており、通期で前年比95%で推移している状況がまだ続くとみられる。	
▲	乗用車販売店 (役員)	・物価上昇が影響するとみられる。	
▲	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・現在は年末のため忙しいが、正月が明けると、2月一杯はほとんど客が来ず、最悪の状態であるとみられる。	
▲	美容室 (経営者)	・1月は成人式で忙しいが、成人式が過ぎると落ち着いてくるとみられる。また、インフルエンザが流行しているため、その影響が出ないか心配している。	
▲	美容室 (経営者)	・客との会話でも、景気の悪い話が非常に増えている。	
▲	設計事務所 (所長)	・建設業界でも倒産情報を幾つも聞くようになり、相変わらず好調な会社との差が出ていることから、やや悪くなると予想される。	
×	一般小売店〔文具店〕 (経営者)	・年度末の売上増加は、現在のところ期待できない。毎年、この時期から年度末にかけて、客からの見積依頼があるが、今年はその件数が少なく、今後が心配である。	
×	一般レストラン (経営者)	・年末年始の繁盛期に売上が伸びなければ、その先は、売上が例年並みになることはないともみられる。	
×	タクシー運転手	・四国遍路の仕事は、冬場はなく、3月頃から再び始まるが、今年のような忙しさはなく、平年どおりに戻るとみられ、売上は減少すると予想される。	
◎	企業 動向 関連 (四国)	食料品製造業 (商品統括)	・食品業界は人手不足や設備投資への資金不足等の不安要因を比較的大きく受けている中小企業と、設備投資で人手不足をカバーできる大手企業の格差が大きくなっている可能性もある。しかし、M&Aによる何らかの統合へ向かう状況も確認できており、今後の利益確保などの生き残るための動きがみられる。
○		繊維工業 (経営者)	・国内の経済情勢は一進一退であると考えているが、インバウンド需要が景気を引っ張っており、当分この傾向は続くとみられる。当社の客先はインバウンド需要が見込まれる立地にあるところが多く、しばらくは好調が持続されるとみられる。
○		通信業 (企画・売上管理)	・視聴率の好調により、売上が堅調であり、2～3月についても期待したい。
○		金融業 (副支店長)	・政府の基礎控除の引上げ等に伴い、手元の現預金の増加が見込まれるため、景気はやや良くなるとみられる。
○		税理士事務所	・配偶者控除の拡大などに伴い、仕事をする人が増えるとみられる。

	<input type="checkbox"/>	農林水産業（職員）	・夏秋期の高温は、過去に例を見ないほど青果物の生育に影響をもたらしており、以前から苗半作といわれてきたが、本年はそれ以上の影響が出ている。要因としては、青果物の卸売価格が上がらないなか、生産者は反収の増加を求め、種苗会社はそれに応じた品種を育成してきたが、今年のような異常気象への耐性は従来の品種より劣る傾向がみられたことである。これらのことから、冬春産地のハウス栽培も3～4月頃まで影響が残るとみられる。
	<input type="checkbox"/>	化学工業（所長）	・物価上昇の状況をみる限り、大きな変化は期待できないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経理担当）	・世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行きへの不透明感に加え、地政学的リスクの高まり、物価上昇、人件費を始めたコスト増加等もあり、世界経済の下振れが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・現在、様々な形で世界中の政権が代わっているなか、特に日本の地方政権等の動向が経済に非常に関係してくるとみられる。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・資材価格、受注量の変化等がみられる。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・来年の受注の見通しが非常に不透明である。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・現状より、売上が増えても対応が難しい状況である。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（総務担当）	・年度末に向けた売上見込みの積上げがほとんど伸びていない。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・人手不足に伴う採用関連広告は増加傾向であるが、原材料価格の高騰や最低賃金の引上げによる人件費増加等により各企業が広告費等を抑制している。結果、全体としては余り変わらない予想である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・海外から仕入れている主原料が為替等の要因により高騰することが予想され、価格に転嫁できず、利益が圧迫されると推測される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	木材木製品製造業（営業部長）	・ハウスメーカーの受注が低調なまま進捗している。第4四半期は更に落ち込む見込みである。
	<input checked="" type="checkbox"/>	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・年末の掃除の影響でウェットクリーナーの売上が増加しているが、その反動で1～2月の売上が減少するとみられる。まだ円安の影響により資材が高騰しているため、利益を出すためには値上げが必要だが、卸売や小売の反応は悪いため、価格転嫁ができていない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	鉄鋼業（総務部長）	・産業用機械関連の売上の低調傾向が続けば、当社の生産量や販売量も減退していく。
	<input checked="" type="checkbox"/>	－	－
雇用 関連	<input checked="" type="checkbox"/>	－	－
	<input type="checkbox"/>	－	－
(四国)	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（総務部長）	・当面は横ばいであるとみているが、少子高齢化が進み、将来的には人材ビジネス業界は厳しくなるとみている。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌（営業）	・求人件数は増加傾向だが、採用成功の割合に変化がなく、この先も大きな変化材料がないため良くも悪くもなく、横ばいが続くと思われる。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（経営者）	・人の動きが多くなる3月までは求人数の増加が見込めない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（求人開発）	・人手不足が続いていることは間違いなく、有効求人も増加しているが、社会保険の適用拡大や最低賃金の引上げにより、扶養範囲内にするための働き控えの影響が大きく、求人数の増加が、一概に景気の見通しにおいて明るい材料になるとは言えず、今後もしばらくは一進一退の状況が続くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（所長）	・景気が動きそうな要素が少ない。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・地元企業の人手不足感が続いている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・食品、エネルギーの高騰に伴い、固定費となる広告費も抑えられている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	－	－